

『2019年 敷島公園まつり』
 めざせ とうえん☆マイスター 技術普及課



のぼりやパネルで「山の日」(8月11日)をPR

群馬県、前橋市、関東森林管理局などの共催により、毎年4月29日に群馬県立敷島公園において「敷島公園まつり」を実施しています。今年も会場内にブースを出して、「みどり」を守り・育て・活かすことの大切さを発信しました。



大賑わいの親子で「木のしおり」作り

この日は晴天に恵まれ、敷島公園には約2万人の方々が来場しました。当日は、技術普及課と赤谷森林ふれあい推進センターが協力して、「山の日」(8月11日)のPRや「木のしおり」「缶バツジ」作り、「森のかげら

た。関東森林管理局のブースにも昨年を上回る方が訪れ、順番待ちの列が途切れることのないほど賑わいました。



齋藤局長、高野群馬森林管理署長も苗木を配布



プ作り」など、参加した子供達は、オリジナル作品を友達同士で見せ合ったり、記念撮影をしたり、満足そうに持ち帰りました。



したり、フィルムに挟んで「木のしおり」を作ったり、好きな形の木のかげらに絵を描いたりスタンプを押ししたりする「森のかげらストラップ作り」など、参加した子供達は、オリジナル作品を友達同士で見せ合ったり、記念撮影をしたり、満足そうに持ち帰りました。

ストラップ」作り等の体験を行いました。

自分で絵を描いた紙や様々な葉っぱなどを「缶バツジ」に加工



天皇陛下御在位三十年記念ツグツグ植樹 (左から3番目は大澤群馬県知事)

さらに、今年には天皇陛下の御在位三十年を記念して、群馬県知事ほか県議会副議長、広瀬川河畔緑の少年団の子供たちによるツグツグの植樹が行われました。

また、「緑の募金推進中央キャンペーン」として、(公社)群馬県緑化推進委員会、群馬県、前橋市、(一財)群馬県森林・緑整備基金及び関東森林管理局が連携して、ブルーベリー、ハコネウツギ、オリーブ、ロウバイの苗木配布会を開催し、広く緑化の普及を図るとともに、緑の募金にご協力をいただきました。